

高崎市教育委員会定例会会議録	
開 会 年 月 日	令和2年11月19日（木） 午後2時
閉 会 年 月 日	令和2年11月19日（木） 午後2時35分
会 議 の 場 所	教育委員会室
教 育 長 飯 野 眞 幸 委 員 塚 田 展 子 委 員 神 宮 嘉 一 教育長職務代理者 清 水 久 美 委 員 重 田 誠	
事 務 局（説明員）	
教育部長 小 見 幸 雄 教育総務課長 真 藤 要一郎 文化財保護課長 角 田 真 也 中央図書館次長 齊 藤 寛 方 学校教育課長 橋 爪 幸 雄 教育センター所長 永 井 智 幸 書記 教育総務課 宮 澤 信 宏 学校教育担当部長 佐 藤 明 彦 社会教育課長 土 谷 真由美 中央公民館長 藍 美 香 教職員課長 大 澤 克 教 健康教育課長 山 崎 幹 夫 高崎経済大学附属高等学校事務長 神 宮 義 子	

11月19日	会 議 に 附 し た 事 件
議案第26号	高崎市指定文化財の指定及び指定解除について
議案第27号	令和2年度高崎市一般会計補正予算（12月議会提出分）教育費見積書の提出について
報告連絡事項	第8回高崎学検定の実施結果について
	令和2年度生涯学習フェスティバルの開催について

高崎市教育委員会 11月定例会会議録

教育長（飯野眞幸）

それでは、これより高崎市教育委員会 11月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、重田委員と神宮委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

それでは本日の議事に入ります。議案第26号「高崎市指定文化財の指定及び指定解除について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（角田 文化財保護課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質疑ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。本案は原案のとおり決することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議なしと認め、議案第26号は原案のとおり決しました。

続きまして、議案第27号「令和2年度高崎市一般会計補正予算（12月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（真藤 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長（飯野眞幸）

ただいま事務局から秘密会での審議の申し入れがありましたが、議案第27号の審議を秘密会とすることにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

ご異議がないということで、秘密会といたします。

（秘密会）

教育長（飯野眞幸）

それでは、秘密会による審議を終了いたします。

教育長（飯野眞幸）

続きまして、報告連絡事項に入ります。

「第8回高崎学検定の実施結果について」の説明をお願いします。

（土谷 社会教育課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

高崎学検定について、ご質問等ございますでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

続きまして、「令和2年度生涯学習フェスティバルの開催について」の説明をお願いします。

（土谷 社会教育課長 説明）

教育長（飯野眞幸）

説明が終わりましたが、ご質問等ございますでしょうか。

委員（重田誠）

毎年、生涯学習フェスティバルには何人ぐらい参加されているのですか。

社会教育課長（土谷真由美）

前は、200人弱ぐらいの参加をいただきました。

委員（重田誠）

今回は、絞るという形ですか。

社会教育課長（土谷真由美）

はい。やはり3密など、コロナウイルス感染症対策といたしまして、本来ですとシンポジウムなどは人数を多く入れていますが、今回は希望をとりまして参加を調整しています。

委員（重田誠）

時期的に、感染者が出ないように対策をお願いします。

教育長（飯野眞幸）

その他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。

以上で、予定しておりました議事の審査は終了いたしました。事務局から何かあります。

（「特になし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

事務局からはないようですが、この際、委員の皆様から、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。

委員（神宮嘉一）

指定文化財の白岩観音が解除されたという事ですが、所有権が個人に帰属する中で、建物に関しては、維持するのが非常に大変ではないかと想像されます。これから指定される、特に建物関係に関しましては、個人の意向で維持するのが大変だという場合は、今回のような場面も想像がつかますので、今後を見据えて対策を考えていただいた方がよろしいのかなと感じました。

文化財保護課長（角田眞也）

3年程前から、所有者の考えをなるべく聞く機会を作ろうという事で、職員が指定文化財をお持ちの所有者の方を訪ね、確認調査という形でお話をさせていただいています。今回の件に関しても、時間をかけて相談しましたが、結果としてこのようになり残念に思います。引き続き、所有者の意向を丁寧に聞き取り、対応していきたいと考えております。

委員（神宮嘉一）

特に代替わりなどすると、今までの意向が変わったりしますので、よろしくお願いします。

教育長（飯野眞幸）

貴重なご意見ありがとうございました。その他にいかがでしょうか。

教育長職務代理者（清水久美）

私の子どもが通っている高校では、来月に修学旅行を予定しているのですが、行き先が関西方面なので、100パーセント確定ではない状態です。現在、高崎経済大学附属高等学校では、どのような状況なのかお聞きしたいと思います。

高崎経済大学附属高等学校事務長（神宮義子）

高崎経済大学附属高等学校では、例年11月中旬に、沖縄方面に3泊4日で修学旅行を行っていますが、今年度につきましては、コロナの影響で、小中学校にならって中止

という事になりました。その代替としまして、県内が多かったのですが、2年生8クラスのクラス毎に、日帰りのバス研修旅行という事で、一昨日も行ってきました。県外は、日光が2班くらいで、あとは草津やハッ場ダム周辺に行っています。

教育長（飯野眞幸）

よろしいでしょうか。その他にございますでしょうか。

委員（重田誠）

先日、医師会の学校医の集まりの中で、子どもの風邪が増えてきているという話がありました。夏場はほとんど熱が出た子どもはいなかったのですが、現在は、結構増えてきています。コロナではないのですが、感染者が増えてくると、学校での発熱者の扱いが難しくなると思います。実際、コロナの市中感染も増えてきていますので、今後は、学校で家庭内感染から移ることも出てくると思います。その時に、感染者の検査の把握は、健康教育課にあがってきていると思いますが、学校医は、検査をしているか、していないかが全く分かりません。学校の中で子どもがコロナに感染した時に、どの段階で学校医に知らせるか、個人情報の問題もあるので難しいと思いますが、その辺のお考えはあるのでしょうか。検査の段階では学校医は知らないのですが、どの段階で学校医に知らせるか決まっていますか。

教育長（飯野眞幸）

学校医への連絡体制という事ですね。山崎健康教育課長、お願いします。

健康教育課長（山崎幹夫）

陽性者と確定した段階で、学校医に連絡をとる事になっています。検査を受けただけでは連絡はとっておりません。

委員（重田誠）

陽性者が出たら、校長先生から学校医に連絡することになっているのですね。

健康教育課長（山崎幹夫）

はい、そのとおりでございます。

委員（重田誠）

保育園では、園の中の家族に陽性者が出たという事を、園医が知らなかった事例がありましたので、学校の中で出た場合は、連絡が来るという事ですね。

教育長（飯野眞幸）

幼稚園と、小、中、特別支援、高等学校については、そのような体制をとっています。

委員（重田誠）

また、休校措置については、教育委員会で決定して、学校医に助言を求めているという事がありますか。

健康教育課長（山崎幹夫）

陽性者が出て、休校するにあたりましては、市が判断する形になります。その後の手続きにつきましては、学校医に連絡をするという体制です。

教育長（飯野眞幸）

市が決定しますが、その決定に基づいて、学校医へは各学校を通じて連絡をする仕組みになっていると思います。

委員（重田誠）

分かりました。学校医の先生方も心配されていたので、お聞きいたしました。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

委員（塚田展子）

コロナ感染がますます拡大する傾向にあります。今のところ、高崎市にしても他の地区にしても、子どもたちの感染はそう多くはないのですが、これから増えるであろうと思います。その時に、感染した子どもたちへのフォローを、是非、考えておいていただきたいと思います。差別しないようにという事は、重々分かっている事だと思いますが、いざ感染者が出るとやはり孤立感ですとか、その後仲間の中に入れなかったとか、これは大人が感染し、回復した後に会社に戻れないという例が報告されているように、子どもも大人と一緒にしますので、感染した後のフォローを意識しておいていただくと有難いと思います。

教育長（飯野眞幸）

2つの課にまたがりますので、学校教育担当部長お願いします。

学校教育担当部長（佐藤明彦）

現在、様々な行事が中止されている中で子どもたちの心のケア、また、コロナに感染してしまった場合や、その後学校に復帰した際の心のケアについて、学校も今からしっかりと全ての子どもたちの差別を許さない、相手の気持ちに配慮するよう重点的に取り組んでいるところです。先月、コロナによるいじめ防止ポスターを教育委員会で作成し、各学校に配布いたしました。公民館等にも同時に配布しまして、啓発活動を進めているところです。子どもたちが、もしコロナに罹ってしまい、学校に戻って来た時に心無い言葉が周りから掛けられるような事が、絶対あってはならないという気持ちで取り組んで参りたいと思います。

委員（塚田展子）

ありがとうございます。県の男女共同参画センターが、一般の方を対象とした健康調査をした中で、コロナの影響をどのように受けているかという調査結果が新聞に出ています。私が少し関わっているのですが、お話を聞いているのですが、女性の7割の方が何らかの不安を感じているようで、特に、健康面の不安であるという事がデータ上に出ています。女性のみという事ではありますが、恐らく全ての方に共通していると思います。

多くの子どもたちは、以前は人間関係での悩みが多かったのですが、将来どうなるだろうかというコロナにまつわる事や、将来の自分像であれこれと考える子が増えているように思いますので、そのようなところも併せてよろしくお願いします。

教育長（飯野眞幸）

人間関係だけではなく、将来への不安等でも悩んでいる子がいるという前提で、学校経営に留意してもらいたいというご意見だと思いますので、改めて学校長に注意喚起したいと思います。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

委員（重田誠）

もう一点よろしいでしょうか。

高崎市はGIGAスクール構想で、前倒しして今年度中にタブレットを導入することになったと思いますが、実際に使用するのは来年度からになるのでしょうか。

教育総務課長（真藤要一郎）

当初、導入を予定していた児童生徒の3分の2の予算は確保していきまして、調達の手続きは進行しています。ただ、メーカーの生産が間に合わないという事で、予定は少し後ろ倒しになっているのですが、年明けに端末が確保され、年度内には学校に納入され、実際に子どもたちが使える期間も確保出来るのではないかと見通しです。追加の1万台については、これから取り組んで参りますが、最初の2万台については、予定どおり年度内での調達と利用開始を見込んでいます。

委員（重田誠）

国のGIGAスクール構想は、良い面を強調していますが、今回のコロナ禍で世界各国の子ども教育には色々な問題が出てきているようです。導入しておしまいでなく、導入前にどのような形でするのか、どのようなコンテンツを使うのか、先生方をどうするのかなど、早めにやっておかないと間に合わないのではないかと思います。その辺のソフト面の準備はどのようになっていますか。

学校教育担当部長（佐藤明彦）

本市においては、ご指摘のとおり、ただ配備するだけでは有効活用されない、また、子どもたちの心身への健康に心配な部分があるという事で、使い方や活用方法などを含めて研究するために、「GIGAスクール研究会」を8月に立ち上げています。第1回を8月11日に開催し、これまでに3回開催しています。各委員それぞれ専門的な立場で、タブレット端末を利用した学校での学習や休校中の活用、子どもたちの心身への健康に及ぼす影響などについて、ご意見をいただいております。教員も児童生徒も抵抗なく使える基盤づくりが重要であるといった意見や、教員の負担を出来るだけ軽減するような工夫が必要であるなど、あるいは子どもたちの心身への影響を十分配慮した上で、使用時間や使用方法を考えていく必要があるというようなご意見をいただきました。そのような中で、先日、今回の研究会におけるまとめを作成しまして、その中に、子ども

たちの心身の健康などを配慮した上での使用時間など、各学校に示すことが出来ています。先程ご指摘いただきました部分についても、配慮しながら進めて行ければと思っています。

委員（重田誠）

やはり入って直ぐには出来ませんし、教える側の先生のスキルも上げておかないといけないと思います。また、学校で使う場合と、コロナ禍において家で使う場合などのパターンがあると思いますので、事前に検討していただけると良いと思います。

教育長（飯野眞幸）

高崎市の場合は、とにかく使い方をしっかりと研究してから配りたいという事でやってきました。それが整った事もあり、今年度に全学年にという事になりました。県は、いち早く県立学校全部に備えるという発表をしましたが、全然進まず、ようやく高崎市がしているような協議会を立ち上げるという話を伺いました。高崎市の方は随分早い対応が出来たのかなと思っていますので、ご報告させていただきます。

教育長（飯野眞幸）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長（飯野眞幸）

前回の定例会では、塚田委員から自殺の話も出て心配していただきました。隣の市では子ども2人が亡くなり、親の方も重症という話もございます。今、「虐待の防止月間」となっておりまして、やはり未然に子どもの命を守るという取組は、年末の慌ただしい時期ですがやって行かなければいけないと思っていますので、各課長さん方、そのような配慮で協力していただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして、教育委員会11月定例会を閉会させていただきます。本日は大変ご苦勞様でした。